

西宮市の決算の概要
～令和元年度版～

令和2年8月

西宮市 財務局 財務総括室 財政課

目次

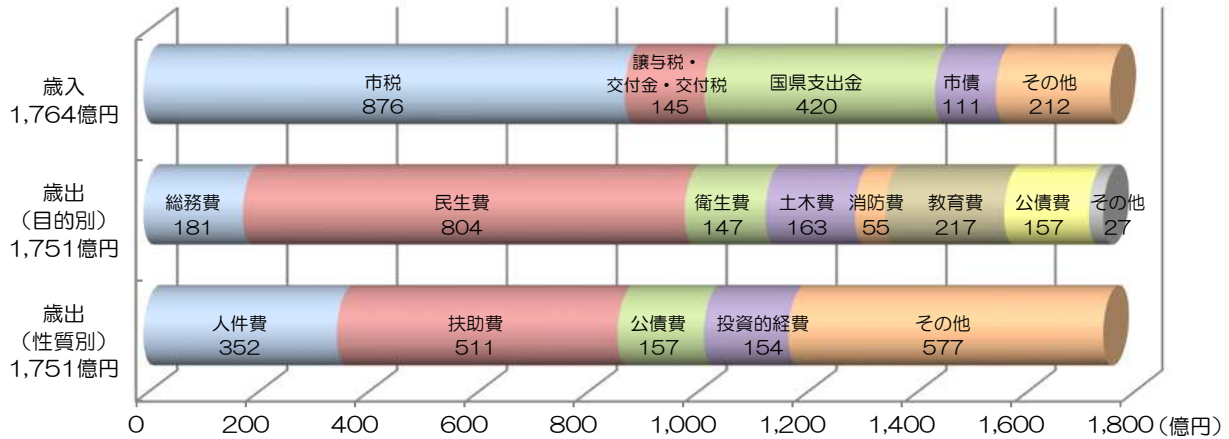
1.	決算の概要	1
2.	歳入の状況	2
3.	市税の状況	3
4.	歳出の状況	
	(1) 目的別	4
	(2) 性質別	5
5.	特別会計の決算状況	6
6.	西宮市の貯金（基金）	6
7.	西宮市の借金（市債）	
	(1) 市債の元金返済額と借入額の推移	7
	(2) 市債現在高の推移	7
8.	投資的事業の状況	8
9.	目的税等の使途	
	(1) 目的税	9
	(2) 森林環境譲与税交付金の使途	11
	(3) 消費税率の引上げによる地方消費税交付金増収分	12
10.	主な財政指標	
	(1) 経常収支比率	13
	(2) 財政力指数	14
11.	市民一人あたりの決算額	
	(1) 歳入	15
	(2) 歳出	15
	(3) 市債残高および基金残高	15

1. 決算の概要

Point!

R1年度は収支の結果による財源不足に対応するため、市の貯金である財政基金を53億円取り崩しております。その結果、歳入から歳出を差し引いた金額が12億7千万円となり、そこから翌年度に繰り越した事業の財源(6億7千万円)を引いた6億円が実質的な剰余金となります。

令和元年度一般会計決算状況



R1年度は、「第5次西宮市総合計画」の初年度であり、保育所等の待機児童対策や公共施設の老朽化対策などを実施しました。

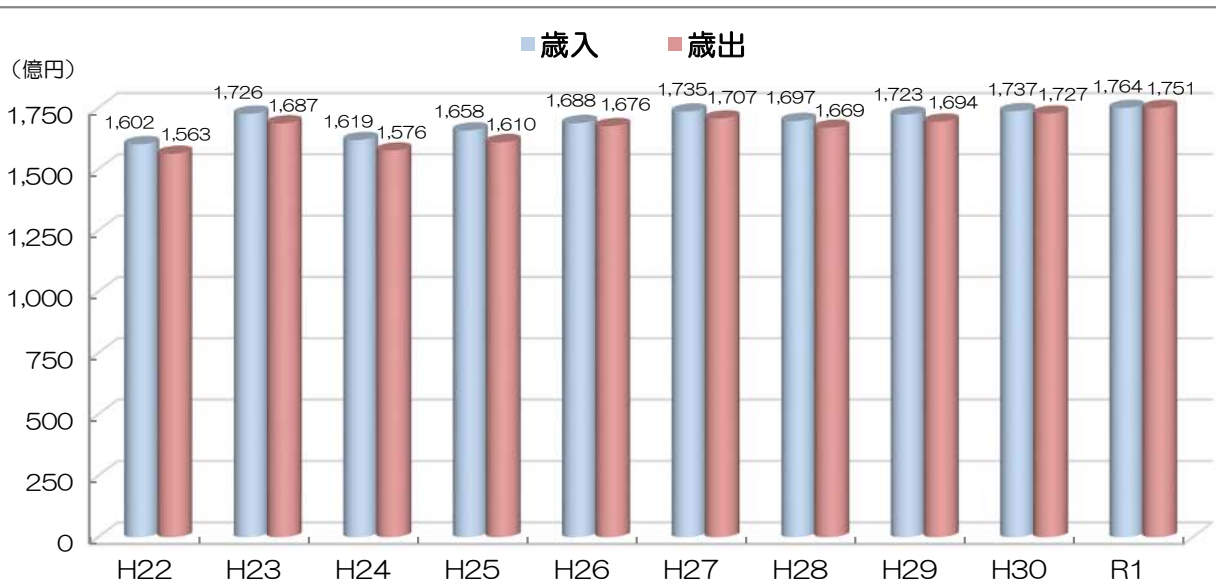
一般会計の決算額については、投資的経費が減額となりましたが、扶助費などの社会保障関係経費の増や、物件費が増となったことにより、歳入・歳出ともに前年度決算額を上回りました。

歳入では、家屋の新增築などにより固定資産税が増収となったことで、市税収入が増額となりましたが、その影響などにより地方交付税は減額となりました。また、収支の結果による財源不足に対応するため、市の貯金である財政基金を53億円取り崩しています。財政基金の取崩しは、H26年度以来5年ぶりとなります。

歳出では、香櫨園小学校教育環境整備事業の工事の進捗などにより教育費が増となったほか、幼児教育・保育の無償化の実施による児童保育費の増などにより民生費が増となったため、前年度に比べ増額となっています。

なお、当年度は、前述のとおり市の貯金である財政基金を取り崩すことによって実質収支の黒字を確保しています。実質収支の1/2(3億円)は再度財政基金に積み立て、残りの1/2は令和2年度の財源として活用します。

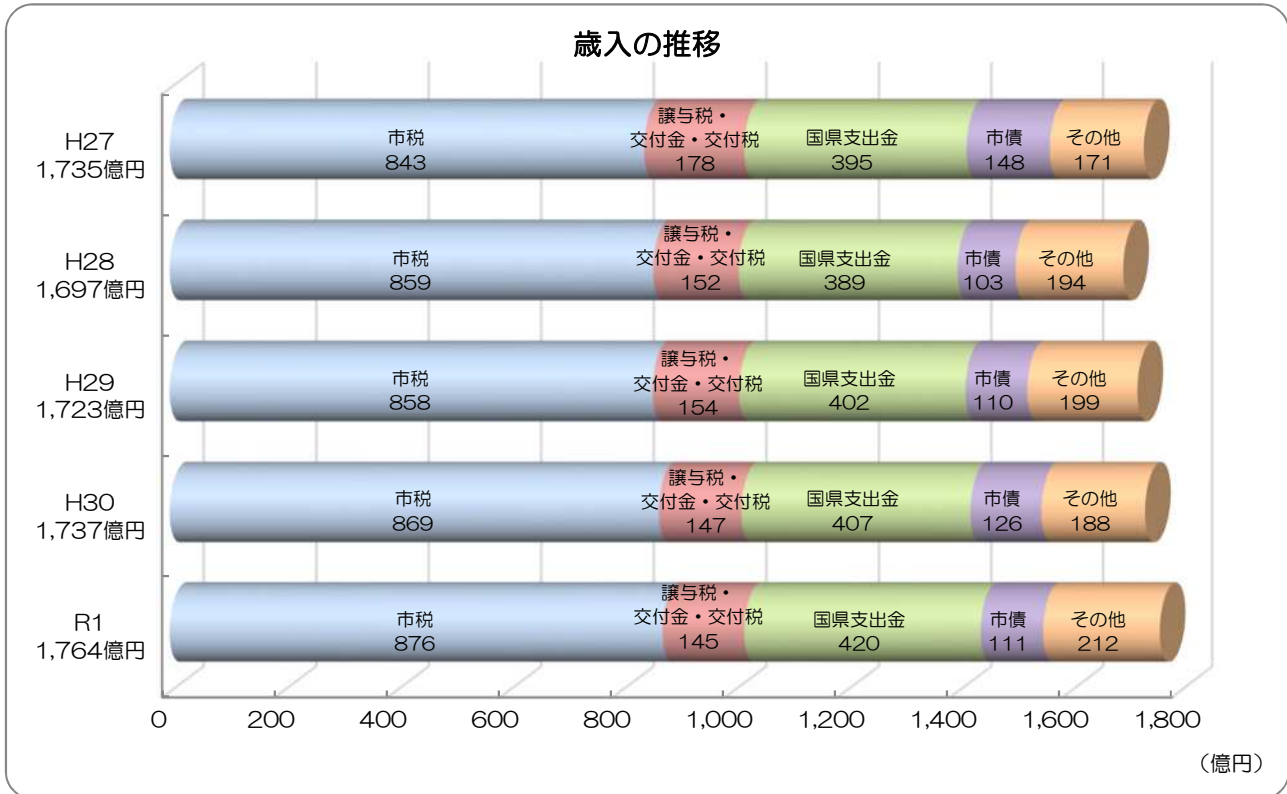
過去10年間の一般会計における歳入歳出決算額の推移は以下のとおりです。



2. 歳入の状況

Point!

市税収入が歳入全体の49.7%を占めています。また、収支の結果による財源不足に対応するため、H26年度以来5年ぶりに財政基金を取り崩しました。



＜市 税＞ 家屋の新增築による固定資産税の増収などにより、前年度に比べ7億4千万円の増額となりました。

＜譲与税・交付金・交付税＞

幼児教育・保育の無償化の実施に必要な財源として子ども・子育て支援臨時交付金が創設されたため、地方特例交付金は増額となりましたが、地方交付税や地方消費税交付金などが減額となったため、総額では、前年度に比べ1億6千万円の減額となりました。

＜国県支出金＞

補助対象施設の減により保育所等整備交付金が減となった一方で、幼児教育・保育の無償化の実施の影響により、国庫支出金が増えています。総額では、前年度に比べ12億4千万円の増額となりました。

＜市 債＞ 臨時財政対策債の減などにより、前年度に比べ15億4千万円の減額となりました。

＜その他＞ 前年度からの繰越金が減っていますが、財政基金の取崩しにより、前年度に比べ24億3千万円の増額となりました。

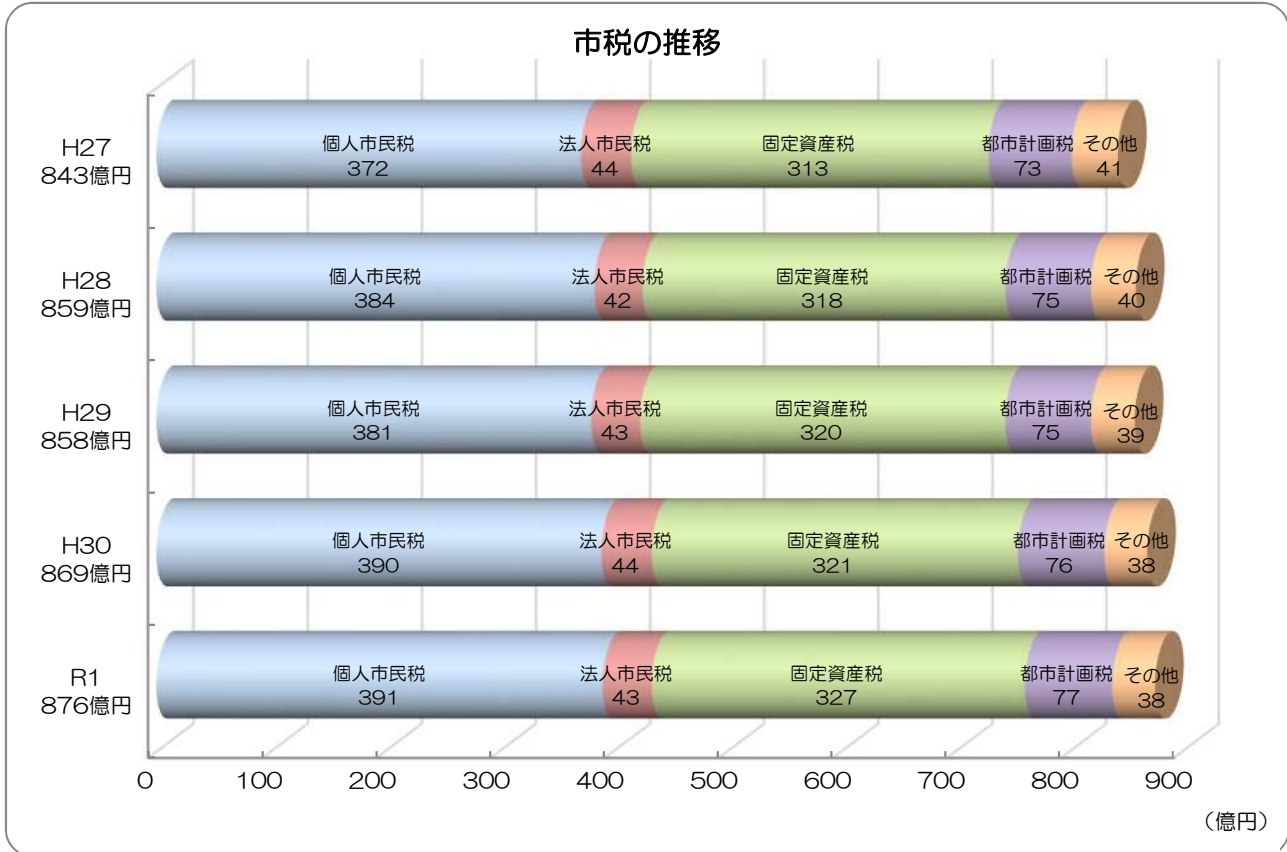
～用語解説～

譲与税・交付金・交付税・・・国税（自動車重量税など）や県税（地方消費税や自動車取得税など）として収入されたもののうち、市に一定割合が配分される収入や地方交付税などのことです。

3. 市税の状況

Point!

法人市民税は一部企業の収益減により減となりましたが、個人市民税や固定資産税及び都市計画税が増となったため、市税全体では増となりました。



※その他は市たばこ税・事業所税・軽自動車税・入湯税・特別土地保有税。

<個人市民税>

今年度も他自治体へのふるさと納税の影響による減はありましたが、給与所得等の増により、前年度に比べ1億円の増額となっており、2年連続の増となりました。

<法人市民税>

一部企業の収益減により、前年度に比べ5千万円の減額となっています。

<固定資産税及び都市計画税>

家屋の新增築により、固定資産税は前年度に比べ5億4千万円の増額、都市計画税は前年度に比べ1億1千万円の増額となっています。

<その他>

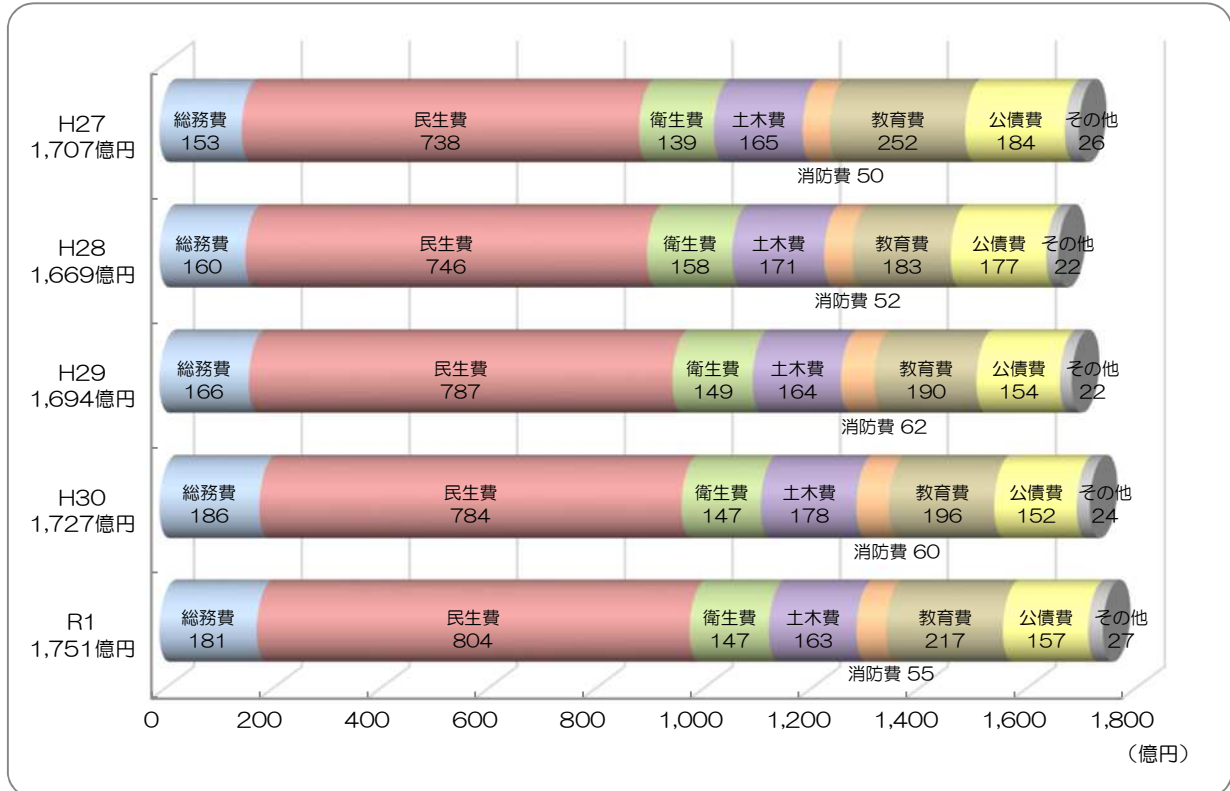
市たばこ税については、売渡し本数が減となりましたが、税率の引上げにより、前年度に比べ2千万円の増額となりました。

4. 歳出の状況

(1) 目的別

Point!

歳出の状況を目的別に見てみると、社会保障関係経費の増大により民生費が年々増加傾向にあります。また、これまで減少が続いていた公債費（借金の返済）は、R1年度に増に転じており、今後は、ほぼ横ばいに推移する見込みです。



＜総務費＞ 第二庁舎（危機管理センター）新築工事の本格着工により、庁舎整備費が増となりましたが、財政基金積立金や、高須東小学校解体事業費の減などにより、前年度に比べ4億4千万円の減額となっています。

＜民生費＞ 幼児教育・保育の無償化の実施による児童保育費の増や、障害者介護給付等事業経費の増などにより前年度に比べ19億6千万円の増額となっています。

＜衛生費＞ 病院事業会計への補助金の増などにより、前年度に比べ6千万円の増額となっています。

＜土木費＞ 道路照明灯のLED化工事費の減額による道路橋梁新設改良事業費の減などにより、前年度に比べ15億4千万円の減額となっています。

＜消防費＞ 消防訓練施設の建設工事がH30年度に完了したことに伴う消防施設整備費の減などにより、前年度に比べ5億2千万円の減額となっています。

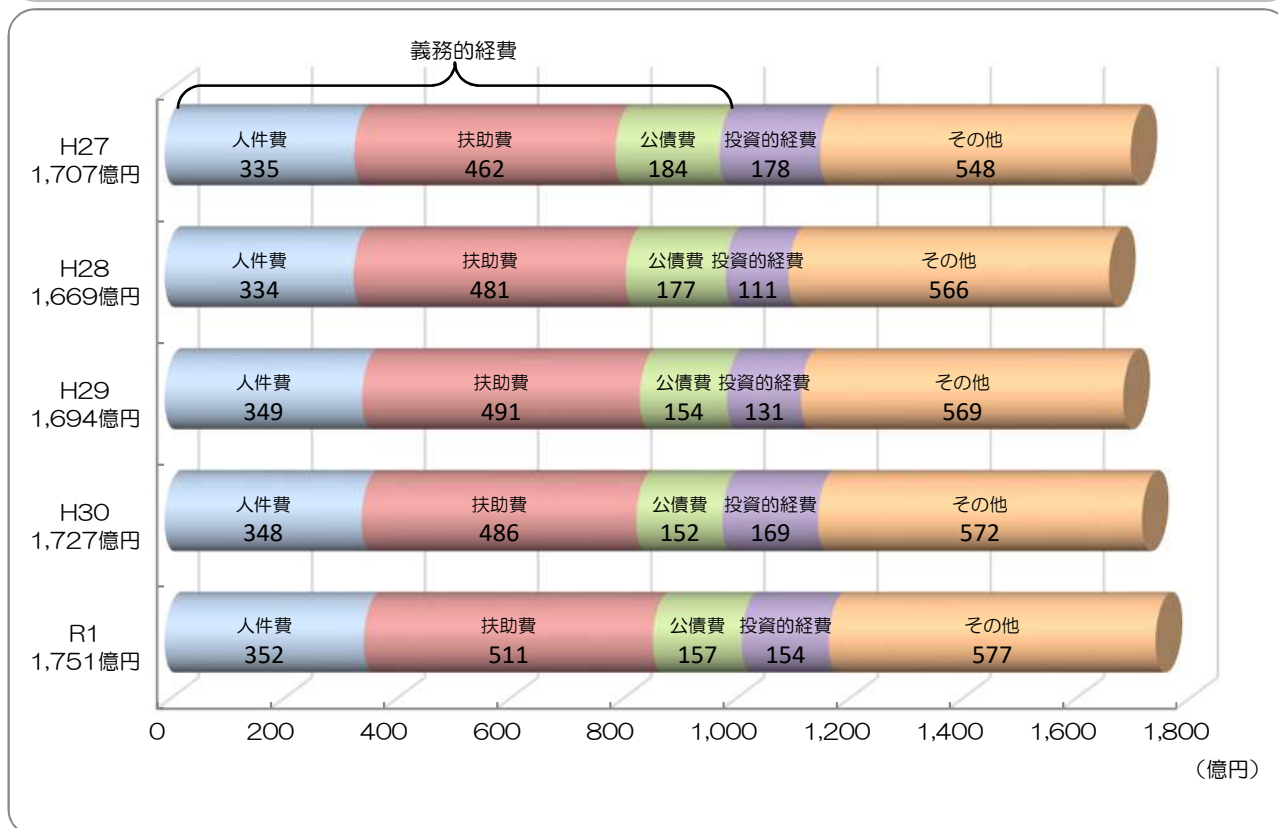
＜教育費＞ 香櫨園小学校や、春風小学校、西宮養護学校の改築工事の進捗による学校整備費の増により、前年度に比べ21億円の増額となっています。

＜公債費＞ 臨時財政対策債の元金償還額が増となったほか、H27年度に借り入れた教育債の元金償還の開始に伴い、前年度に比べ5億1千万円の増額となっています。

(2) 性質別

Point!

歳出の状況を性質別に見てみると、義務的経費が全体の半分以上を占めています。義務的経費の中では、扶助費が幼児教育・保育の無償化の実施などにより大きく増となっています。また、公債費も近年は減少傾向にありましたが、今年度は前年度と比べ増となっています。



＜人件費＞ 職員数の増や人事院勧告に基づく給与改定により、前年度に比べ4億4千万円の増額となっています。

＜扶助費＞ 幼児教育・保育の無償化の実施などによる保育施設等への給付費の増や、障害者介護給付費等の増により、前年度に比べ24億9千万円の増額となっています。

＜公債費＞ 臨時財政対策債の元金償還額が増となったほか、H27年度に借り入れた教育債の元金償還の開始に伴い、前年度に比べ5億1千万円の増額となっています。

＜投資的経費＞

第二庁舎等整備事業や香榎園小学校教育環境整備事業が増となりましたが、民間保育所等整備事業や道路橋梁新設改良事業などの減により全体で15億6千万円の減額となっています。

＜その他＞ 財政基金積立金などが減となりましたが、プレミアム付商品券事業の実施等による物件費の増などにより、前年度に比べ5億4千万円の増額となっています。

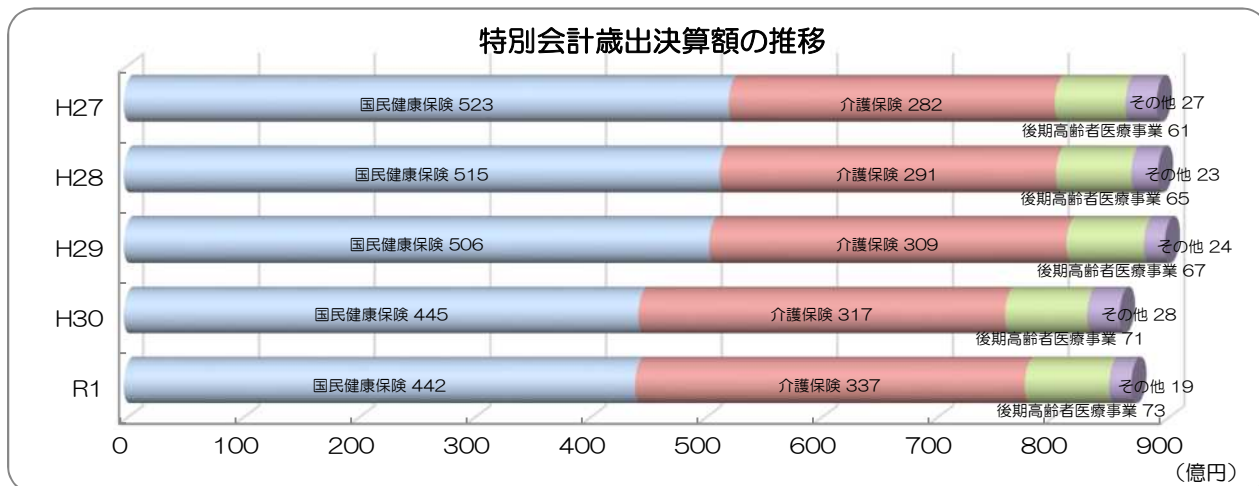
～用語解説～

義務的経費・・・人件費、扶助費、公債費からなるもので、毎年度の支出が義務付けられており、容易に減らすことができない経費のことです。

※なお、義務的経費の割合が大きくなると、新しいサービスや公共施設の建設などが難しくなります。

5. 特別会計の決算状況

国民健康保険特別会計は、国庫支出金等超過交付返納金の減などにより、前年度に比べ2億7千万円（0.6%）の減となりました。一方で、介護保険特別会計は、介護サービス利用者数の増加に伴う保険給付費の増などにより、前年度に比べ19億7千万円（6.2%）の増となり、また後期高齢者医療事業特別会計は、被保険者数の増加により前年度に比べ2億1千万円（3.0%）の増となりました。なお、特別会計全体では10億8千万円（1.3%）の増となっています。

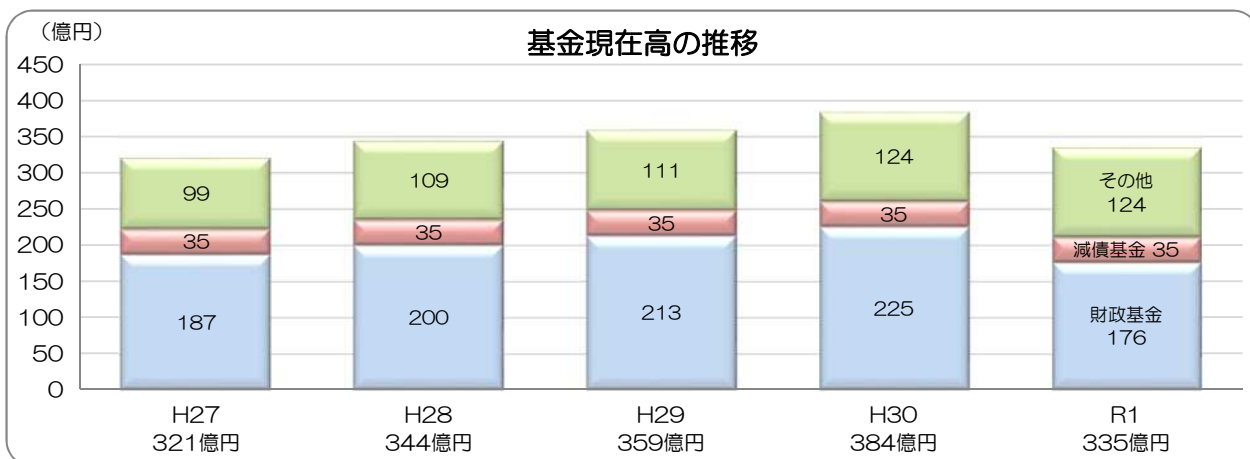


～用語解説～

特別会計・・・特定の目的のための会計で保険料など特定の収入があり、一般会計から切り離して、その収入・支出を経理する会計のことです。西宮市には10の特別会計があります。（R1末時点）

6. 西宮市の貯金（基金）

市の貯金は「基金」と呼ばれています。R1年度末の基金現在高は335億円で、前年度に比べ49億円の減となっています。これは、公共施設保全積立基金に6億円、決算上生じた剰余金等から財政基金に3億6千万円を積み立てた一方で、一般会計の財源不足に充当するために財政基金から53億円を取り崩したことなどによるものです。



※一般会計、特別会計の基金合計額。

～用語解説～

財政基金・・・災害復旧など、財源不足が生じたときに取り崩すことを目的として設置している基金です。

減債基金・・・市債の償還（返済）等に必要な財源を確保するために設置している基金です。

7. 西宮市の借金（市債）

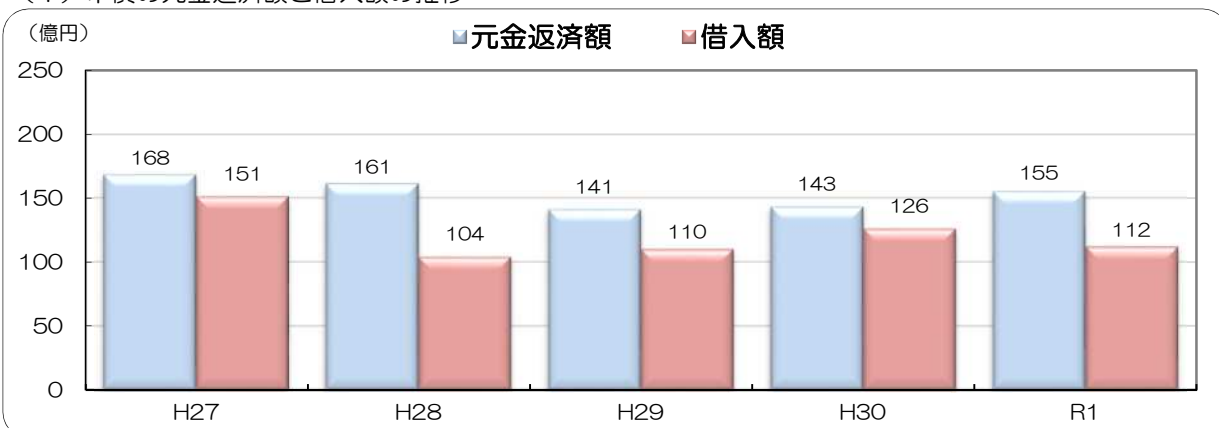
Point!

借入金の元金返済以上に借金をしないことで、市債残高を減らし、財政健全化を図っています。

学校や道路などの公共施設の整備などで金融機関などから長期的に借り入れる市の借金のことを市債といいます。

公共施設を整備するには一時的に多額の費用が必要になります。建設した年度だけでなく、その後長期間にわたりその施設を利用することから、市債を活用して建設費を複数年かけて返済していくことで、現在の市民と将来の市民の「世代間負担の公平」を図っています。

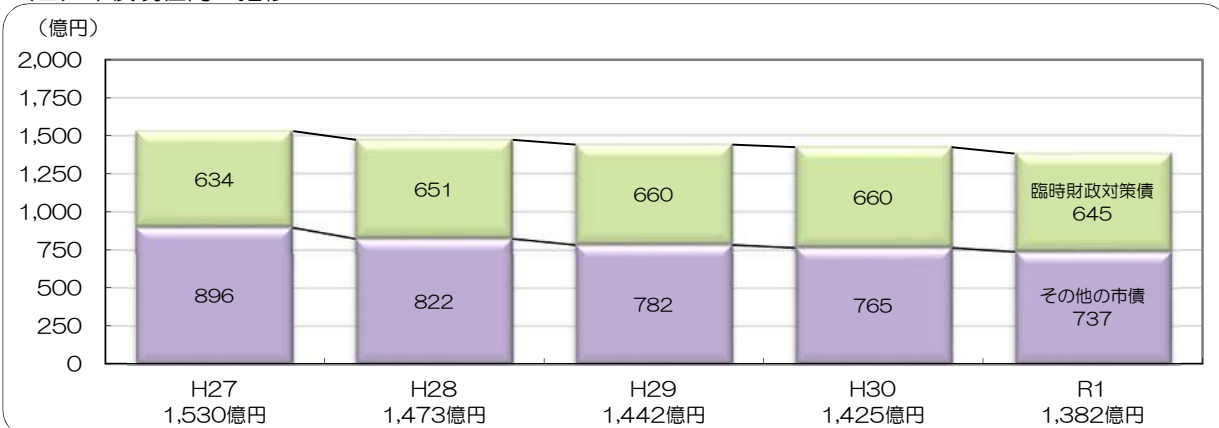
(1) 市債の元金返済額と借入額の推移



※一般会計、特別会計の合計額で、元金返済額には災害援護資金貸付金償還免除額を含む。

R1年度の元金返済額は155億1千万円で、前年度に比べ1億9千万円の増となっています。震災復興事業のために借り入れた借金のうち、一部の返済が前年度で終了したことによる減はありましたが、災害援護資金貸付金償還免除額や、臨時財政対策債の返済額の増などにより、全体では増となりました。

(2) 市債現在高の推移



※一般会計、特別会計の合計額。

R1年度末での市債現在高は1,381億8千万円となっています。前年度末に比べ香櫨園小学校や、春風小学校、西宮養護学校の改築工事の進捗により教育債が17億5千万円の増、第二庁舎（危機管理センター）新築工事の本格着工により総務債が14億2千万円の増となりましたが、主に震災復興に伴う災害公営住宅等建設に係る市債や臨時財政対策債などの返済が進んだことにより、全体では43億4千万円の減となりました。

～用語解説～

臨時財政対策債・・・国から地方公共団体に交付する地方交付税の原資が足りないために、不足分の一部をいったん地方公共団体が借金をして賄う地方債のことです。H13年度から導入され、他の地方債と違い、建物の建設などに限らず自由に使うことができ、その返済額が翌年度以降の地方交付税で賄われることとなっています。

8. 投資的事業の状況

投資的事業とは、道路・公園・学校・公営住宅の建設など社会資本の整備や、災害によって被害を受けた施設等を復旧するための事業です。

事業費は一般会計、特別会計あわせて約155億円で、前年度に比べ15億円の減額となっています。

投資的事業の事業費と財源内訳

(単位：千円)

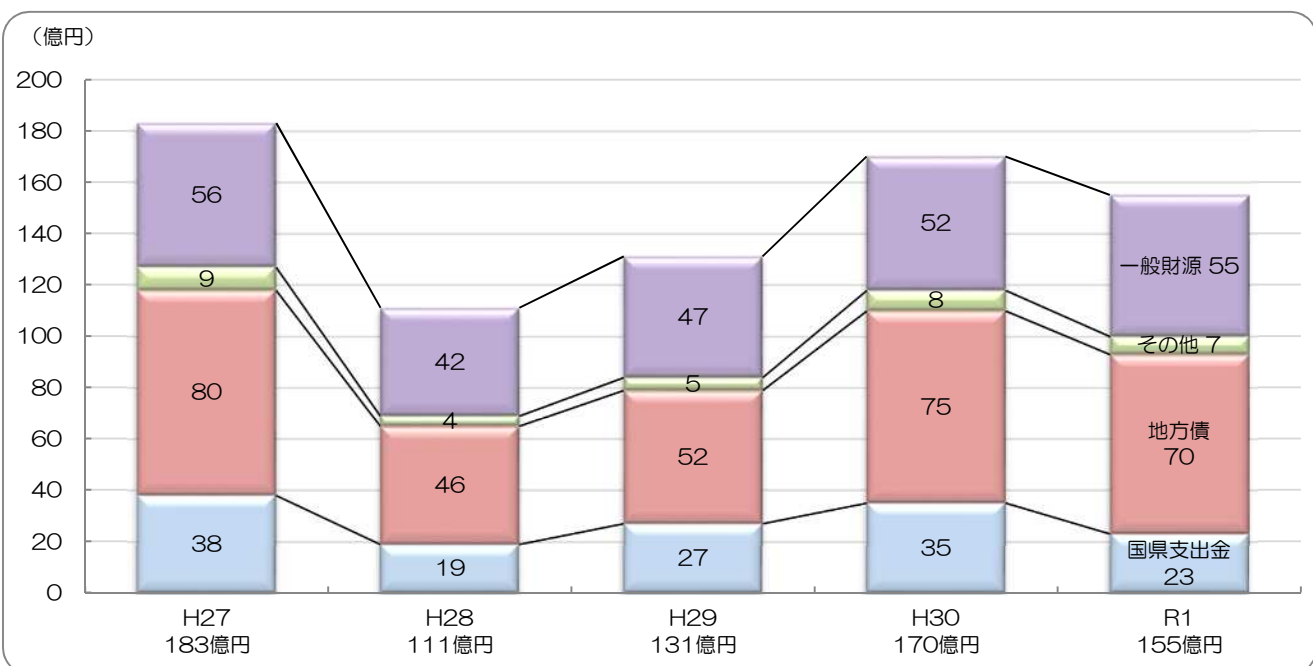
区 分	事 業 費	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
一 般 会 計	15,362,242	2,274,673	6,884,200	712,071	5,491,298
特 別 会 計	122,055	0	107,300	14,677	78
合 計	15,484,297	2,274,673	6,991,500	726,748	5,491,376

主な投資的事業

(単位：千円)

事 業 名	事 業 費	事 業 概 要
学校教育環境整備事業	2,686,994	香榎園小学校ではR1年7月に新校舎の引渡しを受け、渡り廊下等改修工事に着手し、春風小学校では校舎増改築工事に着手しました。また、安井小学校では基本設計・実施設計を実施し、瓦木中学校では基本計画を策定しました。
第二庁舎等整備事業	1,829,567	危機管理体制の強化とあわせ、老朽化や耐震面において喫緊の課題を抱えた庁舎の建替え更新と機能の集約化を同時に実現するため、令和2年度の完成に向けて、第二庁舎（危機管理センター）の建設工事を行いました。
学校施設整備事業	1,690,367	小学校施設では、3校で屋上防水工事、7校で外壁改修工事、2校でトイレ改修工事、3校でサッシ改修工事、9校でコンクリートブロック塀緊急対応工事、その他各種改修工事を行いました。中学校施設では、3校で屋上防水工事、2校で外壁改修工事、2校でプール改修工事、3校でコンクリートブロック塀緊急対応工事、その他各種改修工事を行いました。高等学校施設では、西宮高等学校でハンドボールコート改修工事、西宮東高等学校でコンクリートブロック塀緊急対応工事、その他各種改修工事を行いました。幼稚園施設では、6園で空調設置工事、名塩幼稚園で園舎解体工事、夙川幼稚園で屋根改修工事、3園でコンクリートブロック塀緊急対応工事、その他各種改修工事を行いました。
街路事業	1,052,279	山手幹線（熊野工区）と競馬場線において、用地買収や道路改良工事等を行い、鳴尾今津線においては、歩道拡幅工事を行いました。

H27年度からR1年度の総事業費及び財源の推移は以下のとおりです。なお、H27年度は、高木北小学校新設事業や南甲子園及び上甲子園小学校校舎等増改築事業を実施したことにより大きく膨らみました。H30年度は、道路照明灯のLED化工事や護岸前出し工事等の道路橋梁新設改良事業などにより増額となりました。R1年度は、民間保育所等の整備に係る補助対象施設数の減や道路照明灯のLED化工事費の減などにより減額となりました。



9. 目的税等の使途

(1) 目的税

租税の中で、一定の政策目的を達成するために使途を限定して課税されるものを目的税といいます。西宮市では、都市計画税、入湯税、事業所税の3つの目的税があります。

【都市計画税】

歳入決算額 7,709,243千円

都市計画税は、都市計画事業や土地区画整理事業に要する費用に充てられる目的税です。

西宮市では、以下のとおり街路事業（都市計画法に基づいた道路を整備する事業）や下水道事業、関連する公債費（借金の返済）などに充てています。

歳入決算額と都市計画税充当額との差額は、今後予定される都市計画事業に充当します。

(単位：千円)

予算科目	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	うち 都市計画税 充当額
土木費						
都市計画総務費	274,831	0	0	0	274,831	274,831
街路事業費	1,126,461	351,934	72,000	3,067	699,460	699,460
区画整理事業費	186,601	24,620	61,900	68,092	31,989	31,989
都市開発事業費	3,199	0	0	0	3,199	3,199
公園総務費	22,562	0	0	0	22,562	22,562
公園整備費	615,842	115,000	0	0	500,842	500,842
下水道事業費	3,545,836	0	0	0	3,545,836	3,545,836
公債費						
元金	2,099,311	0	0	0	2,099,311	2,099,311
利子	119,186	0	0	0	119,186	119,186
合計	7,993,829	491,554	133,900	71,159	7,297,216	7,297,216

【入湯税】

歳入決算額 16,530千円

入湯税は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設、消防施設などの整備、観光の振興に要する費用に充てられる目的税です。

西宮市では、以下のとおり消防施設の整備、観光の振興に充てています。

(単位：千円)

予算科目	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	うち 入湯税 充当額
衛生費						
清掃工場費	158,675	0	0	0	158,675	6,944
商工費						
観光費	52,453	0	0	0	52,453	2,296
消防費						
消防施設整備費	452,749	13,761	272,400	0	166,588	7,290
合計	663,877	13,761	272,400	0	377,716	16,530

【事業所税】

歳入決算額 1,346,549千円

事業所税は、人口、企業が都市部に集中することによって発生する交通問題やごみ処理問題などの解決を図るなど、都市環境の整備に要する費用に充てられる目的税です。

西宮市では、以下のとおり教育文化施設、社会福祉施設などの整備に充てています。

(単位：千円)

予算科目	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	うち 事業所税 充当額	
総務費	大学交流センター費	71,224	0	0	0	71,224	34,919
	広報広聴費	209	0	0	0	209	102
	市民文化施設費	491,810	16,115	291,100	0	184,595	90,503
	スポーツ推進費	116,183	0	27,900	4,858	83,425	40,901
民生費	社会福祉施設整備費	167,320	0	131,000	0	36,320	17,807
	老人福祉施設整備費	179,452	20,855	95,300	20,900	42,397	20,786
	児童福祉施設整備費	951,712	437,058	317,600	21,373	175,681	86,132
	障害福祉施設整備費	23,281	0	20,900	0	2,381	1,168
衛生費	保健衛生施設整備費	122,271	0	15,200	2,149	104,922	51,441
教育費	教育指導費	23,447	6,934	11,900	0	4,613	2,262
	学校整備費	5,255,618	623,759	2,930,400	182,853	1,518,606	744,538
	幼稚園整備費	112,776	5,754	76,800	14,287	15,935	7,812
	社会教育総務費	1,756	0	0	0	1,756	861
	公民館費	221,417	0	138,400	19,853	63,164	30,968
	図書館費	215,853	0	0	12,767	203,086	99,568
	青少年教育施設費	6,475	0	0	0	6,475	3,175
	給食費	94,393	0	0	0	94,393	46,279
小計	8,055,197	1,110,475	4,056,500	279,040	2,609,182	1,279,222	
徴税費	67,327	0	0	0	67,327	67,327	
合計	8,122,524	1,110,475	4,056,500	279,040	2,676,509	1,346,549	

(2) 森林環境譲与税交付金の使途

R1年度より創設された森林環境譲与税交付金は、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用に充てることとされています。R1年度は、次年度に小学校の児童用ロッカー等に木材を利用することを予定しているため、公共施設等整備基金に積立てを行いました。

森林環境譲与税交付金 歳入決算額 18,825千円

(単位：千円)

事業区分	事業名	決算額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	うち 森林環境譲 与税交付金
基金積立 (木材利用)	公共施設等整備基金積立金	18,826	0	0	1	18,825	18,825

(3) 消費税率の引上げによる地方消費税交付金増収分

H26年4月から引き上げられた地方消費税の増収分は、社会保障4経費（年金、医療、介護、子育て）その他社会保障施策に要する経費に充当することとされています。

地方消費税交付金 歳入決算額 7633,764千円
 (うち消費税率の引上げによる増収分(社会保障財源化分) 3,398,414千円)

社会保障施策とは

- ①社会福祉・・・生活保護、児童福祉、母子福祉、高齢者福祉、障害者福祉など
- ②社会保険・・・国民健康保険、介護保険、年金など
- ③保健衛生・・・医療に係る施策、感染症その他の疾病の予防対策、健康増進対策などのことをいいます。

西宮市では以下のとおり充当しています。

(単位：千円)

区分	予算科目	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	その他	一般財源	うち 引上げ分の 地方消費税 交付金	
社会福祉	民生費	児童福祉総務費	62,022	8,771	1,108	52,143	552
		保育所費	2,020,053	12,698	174,510	1,832,845	179,543
		児童保育費	10,736,516	6,413,688	800,962	3,521,866	397,315
		子育て総合センター費	98,958	24,350	126	74,482	4,456
		児童育成費	1,654,172	508,662	340,050	805,460	96,651
		障害援護費	11,049,033	8,366,389	634	2,682,010	446,627
		生活保護扶助費	13,887,977	10,276,951	191,430	3,419,596	580,351
	教育費	幼稚園費	31,323	0	10,088	21,235	1,624
	小計	39,540,054	25,611,509	1,518,908	12,409,637	1,707,119	
社会保険	民生費	国民健康保険事業費	4,579,173	1,814,485	0	2,764,688	355,696
		介護保険事業費	4,987,253	181,846	0	4,805,407	696,898
		後期高齢者医療事業費	1,353,064	712,664	0	640,400	40,316
		小計	10,919,490	2,708,995	0	8,210,495	1,092,910
保健衛生	民生費	医療福祉費	2,774,927	711,617	180,024	1,883,286	269,259
	衛生費	保健所費	179,658	77,672	2	101,984	15,315
		保健予防費	2,265,653	115,574	202,873	1,947,206	313,811
		小計	5,220,238	904,863	382,899	3,932,476	598,385
	合計	55,679,782	29,225,367	1,901,807	24,552,608	3,398,414	

10. 主な財政指標

(1) 経常収支比率

Point!

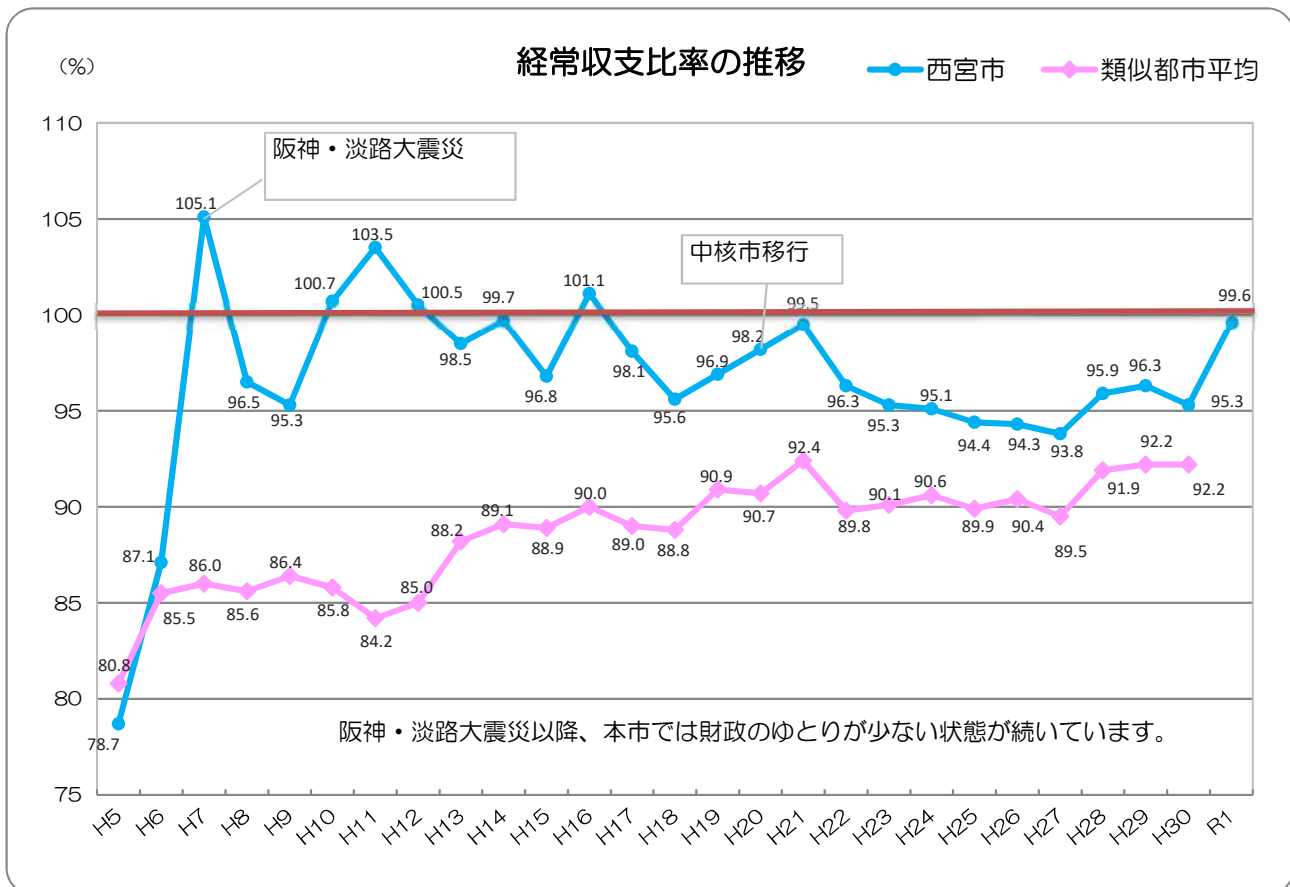
R1年度は99.6%で、前年度(95.3%)と比べて4.3ポイント悪化しています。H30年度は3年ぶりの改善となりましたが、再びの悪化となりました。依然として類似都市平均より高い数値が続いています。

経常収支比率は、財政構造の弾力性を判断する指標で、人件費・扶助費・公債費などの経常経費に、市税収入等の経常一般財源が、どれだけ充当されたかを示す比率です。数値が低いほど財政にゆとりがあると言えます。

これを家計に例えると、給料に占める食費やローン返済などの使い道の決まった支払いの割合で、比率が低ければ、旅行などの自由に使えるお金が多くなり、家計にゆとりがあるというものです。この比率が100%を超えると、給料だけではそうした決まった支払いができず、貯金の取り崩しや借金などに頼らなければ家計が成り立たない状態になります。

西宮市では、R1年度は99.6%で、前年度と比べて4.3ポイント悪化しています。これは歳入において臨時財政対策債の発行額や地方交付税が減となり、歳出においても人件費や扶助費、物件費などの経常的な経費に要する一般財源が増額となったことなどによるものです。

類似都市と比較すると、歳出総額に占める義務的経費の割合が高くなっており、弾力性に欠けた財政構造になっています。



※類似都市は、12年度以前はV-5類型、13年度以降はVI-5類型、17年度以降はIV-3類型、20年度以降は中核市。
※類型は人口及び産業構造により分類される。

(2) 財政力指数

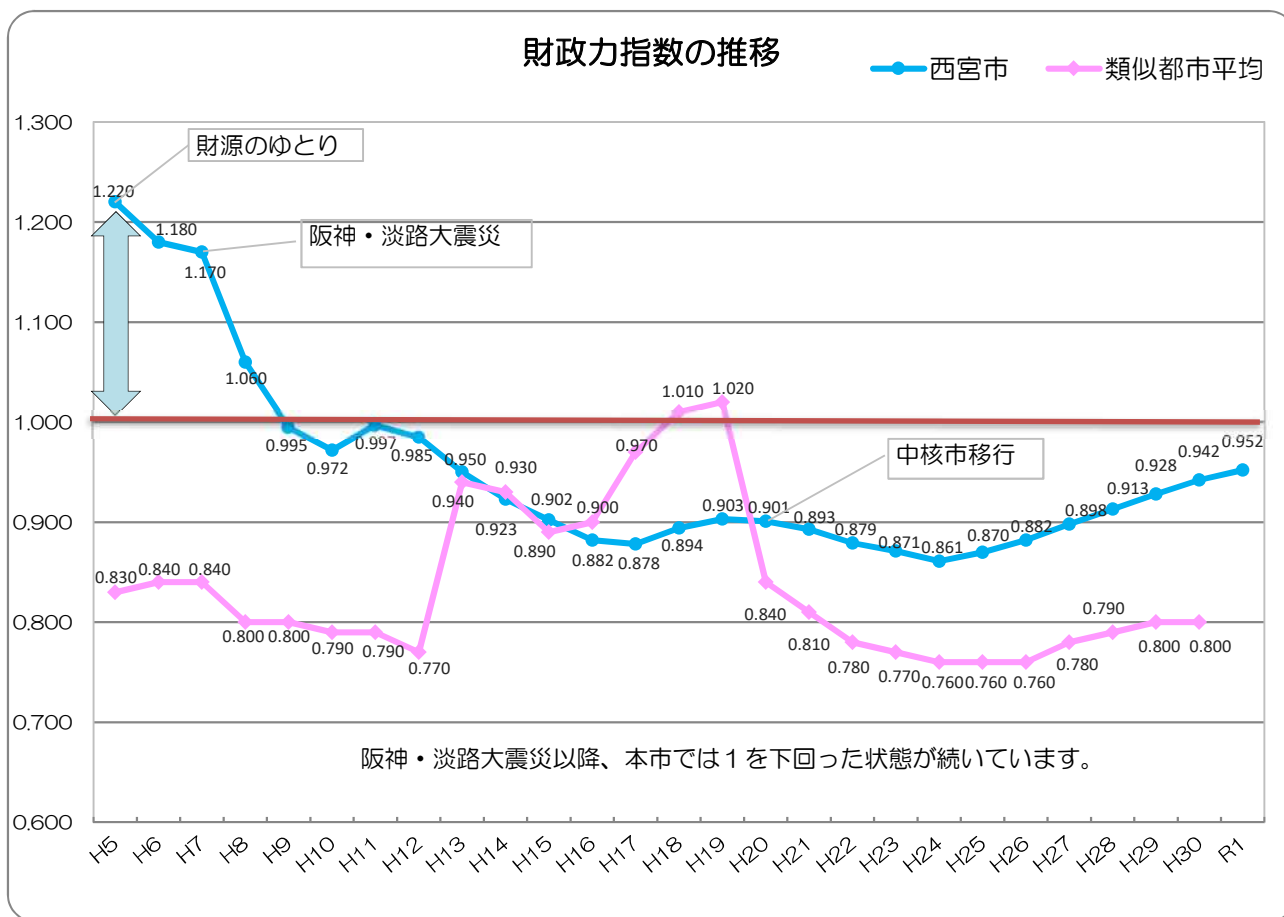
Point!

R1年度は0.952で、前年度(0.942)と比較すると0.01ポイント改善しています。

財政力指数とは、地方公共団体の財政力を同じ尺度で測るための指数で、普通交付税上の標準的な状態において徴収が見込まれる税収入(基準財政収入額)を標準的な行政を行った場合の財政需要(基準財政需要額)で除して得た数値の過去3年間の平均値をいいます。数値が大きいほど財政力が強いことを表しており、一般的に税収等が豊かで普通交付税の交付を受けない不交付団体は、この指数が1を超えることになり、財源にゆとりがあるということになります。

西宮市では、R1年度は0.952で、前年度と比較すると0.01ポイント改善しています。

阪神・淡路大震災以降、数値が低下しましたが、類似都市と比較すると高い数値となっており、これは西宮市の財政基盤が比較的強いことを示しています。



※類似都市は、12年度以前はV-5類型、13年度以降はVI-5類型、17年度以降はIV-3類型、20年度以降は中核市。
 ※類型は人口及び産業構造により分類される。

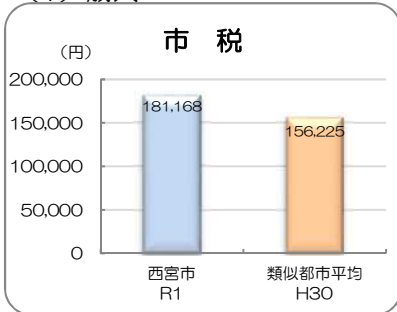
1 1. 市民一人あたりの決算額

類似都市との比較を行う為、普通会計の数値を用いています。

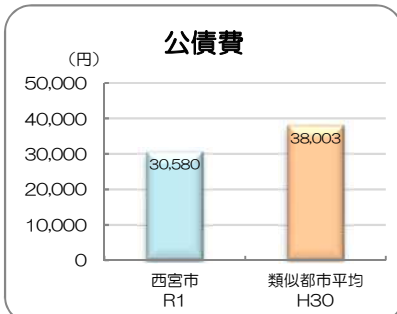
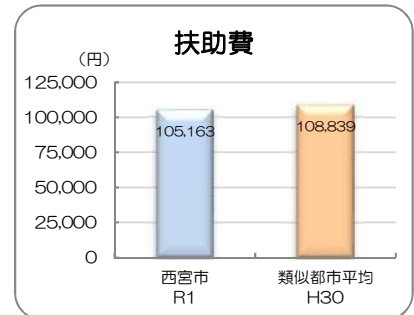
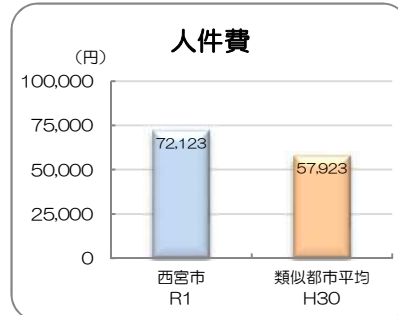
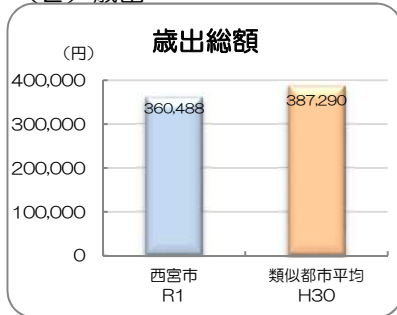
類似都市平均はH30年度財政状況類似団体比較カードのデータに基づいています。

西宮市（R1）の数値は住民基本台帳に基づく人口483,744人（R2年3月31日現在）より算定しています。

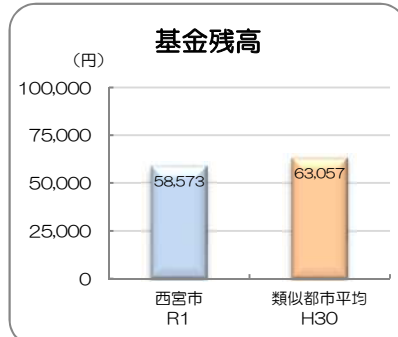
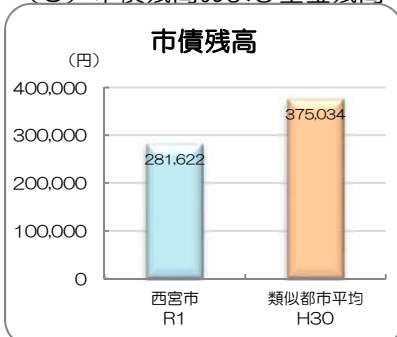
(1) 歳入



(2) 歳出



(3) 市債残高および基金残高



～用語解説～

普通会計・・・地方公共団体ごとに各会計の範囲が異なり、団体間の財政比較が難しいため、地方財政の統計上、統一的に用いられる会計区分のことです。西宮市では、一般会計のほか中小企業勤労者福祉共済事業、勤労者福祉共済事業、公共用地買収事業、母子父子寡婦福祉資金貸付事業の各特別会計を含み、会計間の重複額等を控除して一つの会計にまとめたものです。